



水稲生産情報（4月ふれあい号）

令和3年4月5日
J A つがる弘前
弘前北地区営農係

播種までの準備期間となります。発芽揃いを良くするための水の交換と上下の入れ替えをこまめに行いましょう。また、作業は播種から逆算して計画的に行いましょう。

《 塩 水 選 》

◎健苗育成のため必ず実施しましょう。

種 粳	比 重	食塩の量（水10ℓ当たり）
うるち	1.13	2.1kg
もち	1.08	1.2kg

◎塩水選後はよく水洗いをしましょう。

《 種 子 消 毒 》

◎種粳の表面には、さまざまな病原菌が付着しており、粳の発芽と合わせ病原菌も繁殖し始めるため、種子消毒は必ず行いましょう。

薬 剤 名	使 用 方 法
テクリードCフロアブル 一般米・農薬節減米用	低濃度長時間浸漬法 200倍液（水20ℓに薬剤100cc）に24時間浸漬します。 20ℓの溶液で種粳15kg程度を目安にします。

《 浸 漬 》

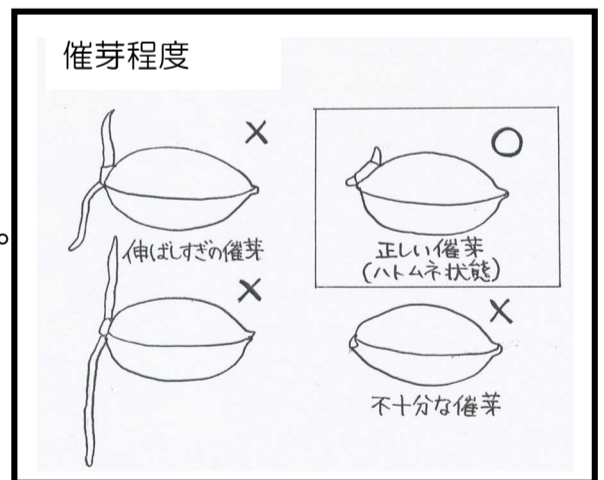
◎種もみを新鮮な水でむらなく浸漬することが、発芽揃いを良くします。

浸漬のポイント！

- ・浸漬の日数は10日～15日を目安に行いましょう。
- ・浸漬中の水温は10℃程度に保ちましょう。
- ・水の入れ替えは3日目から1日おきに行い、こまめに上下の入れ換えをしましょう。

《 催 芽 》

催芽を行うことにより出芽を早め、揃いを均一にします。
十分に吸水した種粳に30～32℃で16時間～20時間ほど加温します。
※芽を伸ばし過ぎると折れやすく、出芽が不揃いになるので注意しましょう。
催芽温度は40℃以上になると発芽能力が低下するので注意しましょう。



《 床 土 の 準 備 》

◎10a当たり35枚を目安に準備しましょう。

使 用 資 材		使 用 量 / 箱	備 考
山土 及び 水田土	サイコー11号	20g	1袋（5kg）で250枚分
	ナエファイン粉剤	8g	1袋（1kg）で125枚分
人工培土	無肥料培土	床土 2.7kg 覆土 0.8kg	1袋（20kg）で5～6枚分 ※. 床土・覆土ともに無肥料培土の場合はサイコー11号を1箱当たり20gを混用しましょう。
	苗の土	床土 2.1kg 覆土 1.2kg	1袋（20kg）で5～6枚分
	ナエファイン粉剤	6g	1袋（1kg）で166枚分

りんご箱で合わせる場合のめやす
（苗箱6枚分）
・サイコー 120g
・ナエファイン粉剤 48g